

景況レポート

2021年
春号

Contents

1. 第72回伊勢崎佐波地区中小企業景気動向調査

2. 第183回特別調査

「新型コロナ感染拡大長期化の影響と新常态（ニューノーマル）への対応について」

3. 企業紹介

上武金型有限会社



伊勢崎商工会議所

〒372-0014
群馬県伊勢崎市昭和町3919
TEL:0270-24-2211



アイオー信用金庫

〒372-8666
群馬県伊勢崎市中央町20番17号
TEL:0270-30-5001

I 全業種 (回答366社...回答率97.3%)

業況判断D.I.は、前期に引続き改善、来期も不透明ではあるが、回復基調は続く

●今期 (2021年1~3月期) の業況

今期の全業種の業況判断D.I.は△38.0と、前期との比較で12.8ポイント上回り、前期に引続き改善しました。項目別の業況判断D.I.でも、売上高は△38.8 (前期比+15.3)、資金繰りは△19.1 (前期比+5.5)、採算△21.9 (前期比+7.6)、従業員増減△3.6(前期比+1.4)と前期に続き全項目で改善しました。業種別の業況判断D.I.においても、回復幅は異なるものの製造業、卸売業、小売業、建設業・不動産業、サービス業と全業種で改善しています。独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他2団体が実査した全国調査 (以後「全国調査」という。)との比較では、全業種の業況判断D.I.で全国調査を6.7ポイント上回ったほか、業種別では製造業、卸売業、小売業、サービス業では全国調査を上回り、建設業・不動産業では全国調査を下回る結果となっています。

●来期 (2021年4~6月期) の業況

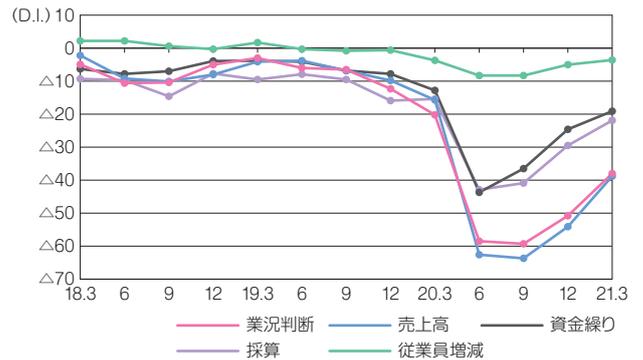
来期の業況判断D.I.の見通しは△17.2と今期との比較で20.8ポイント改善すると予想しています。項目別業況判断D.I.見通しでは、売上高△19.1、資金繰り△13.9、採算△13.7、従業員増減△1.9と全業種で改善しています。また、業種別の業況判断D.I.見通しでも各業種とも前期に引き改善を予想していますが、先行き不透明感も継続することから、業種によって回復幅にばらつきのある見通しとなっています。

■業種別天気図

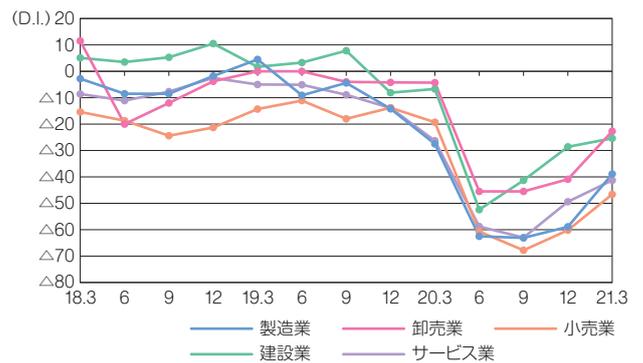
	前期 2020年10~12月期	今期 2021年1~3月期	来期予想 2021年4~6月期	全国調査 2021年1~3月期
全業種	△50.8	△38.0	△17.2	△44.7
製造業	△58.9	△38.9	△3.5	△44.5
卸売業	△40.9	△22.7	4.5	△44.6
小売業	△60.2	△46.6	△31.8	△47.7
建設業 不動産業	△28.6	△25.4	△15.9	△19.0
サービス業	△49.4	△41.3	△27.5	△53.3



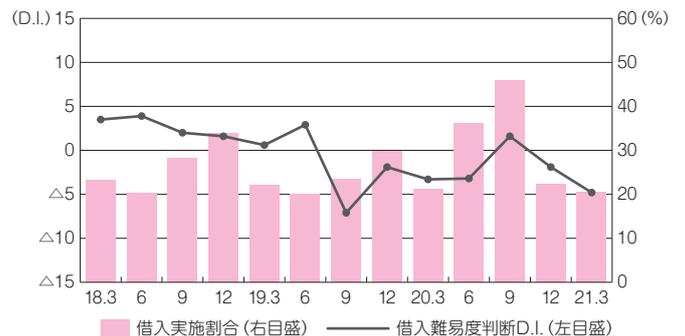
■項目別業況判断D.I.



■業種別業況判断D.I.



■借入実施割合・借入難易度D.I.



Ⅱ 製造業(回答113社…回答率97.4%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△38.9と、前期との比較で20.0ポイント改善しました。全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査を5.6ポイント上回りました。

業種別にみると、プラスチック製品製造を除き、おおむね回復傾向が鮮明になっていますが、業種間のばらつきは大きくなっています。

項目別には、大半の項目で依然としてマイナスで、厳しい状況が継続しているものの改善傾向は、鮮明になっています。

来期の業況判断D.I.は△3.5と、今期との比較で35.4ポイントの改善を予想しており、最悪期を脱し経済活動の活発化への期待が高まっています。

■業種別の状況

【輸送機械】

業況判断D.I.は、△54.5と前期比5.5ポイント改善し、依然厳しい状況が継続していますが、来期は△9.1と45.4ポイントの改善が見込まれており、回復傾向が鮮明になっています。

項目別では、売上、採算は、厳しい状況が継続していますが、設備操業率は大幅に改善しており、生産活動の回復が見られます。

経営上の問題点では、製品ニーズの変化への対応、需要の停滞がそれぞれ約15%で多くなっています。

【機械器具】

業況判断D.I.は、△35.3と前期比57.6ポイント改善し、さらに来期は△5.9と更なる回復が見込まれています。

項目別でも、D.I.は各項目とも改善し、特に売上は△35.3と厳しい状況ながら前期から50.4ポイントの大幅改善となっています。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」が最も多く、次に生産設備の不足・老朽化、製品ニーズの変化への対応と続きました。

【金属製品】

業況判断D.I.は、△26.9と前期比20.5ポイント上回っているほか、来期の業況判断D.I.は、3.8とプラスとなる見込みで着実に改善しています。

項目別にも、すべての項目で改善しており、来期には「悪い」とする回答は、大幅に減少しており、改善見込みが顕著となっています。

経営上の問題点については、「需要の停滞」、「製品単価の低下」、「製品ニーズの変化への対応」の順となっています。

【金属プレス・メッキ】

業況判断D.I.は、△40.0と前期比12.9ポイント改善し、来期はさらに13.3とプラスに転じ、金属製品同様大幅な改善が見込まれています。

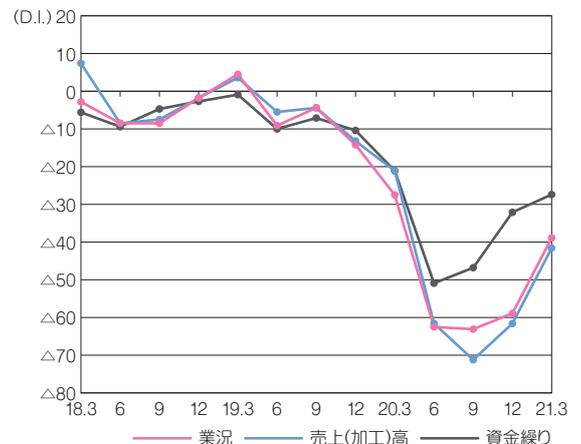
項目別にも、改善している項目が多いものの、改善幅は前期比少ないため、今期は依然として厳しい状況となっています。

経営上の問題点については、多岐にわたっており、各社の状況に応じ悩みが多様であることが特徴的となっています。

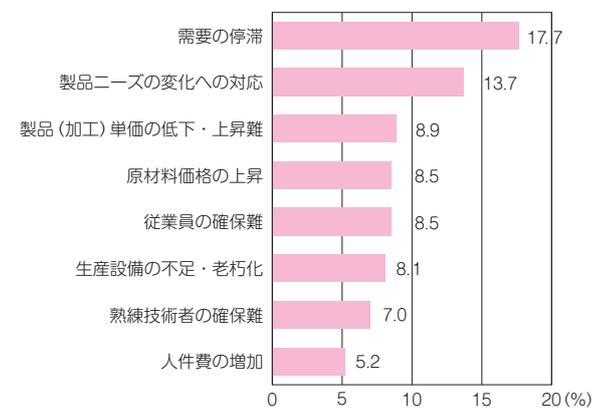
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 58.9	△ 38.9	△ 3.5	△ 44.5
売上(加工)高	△ 61.6	△ 41.6	△ 3.5	△ 48.9
資 金 繰 り	△ 32.1	△ 27.4	△ 15.0	△ 25.3
採 算	△ 34.8	△ 29.2	△ 11.5	△ 42.9
原材料仕入単価	8.0	15.9	15.0	26.6
原 材 料 在 庫	△ 17.0	△ 15.0	△ 8.8	△ 12.3
従 業 員 増 減	△ 6.3	△ 2.7	△ 3.5	△ 11.1
設 備 操 業 率	△ 39.3	△ 23.0	△ 1.8	△ 35.7

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点(複数回答)



【印刷】

業況判断D.I.は、△57.1と厳しい状況ですが前期と比較して17.9ポイント改善し、来期の業況判断D.I.は、0.0と大幅な改善が見込まれています。

【プラスチック】

業況判断D.I.は、△57.1と前期と比較し23.8ポイント悪化しています。来期の業況判断D.I.は、△28.6と大幅に改善が見込まれていますが、不安定な状況が継続することが見込まれます。

Ⅲ 卸売業(回答22社…回答率91.6%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△22.7と、前期との比較で18.2ポイント改善しました。

全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査を21.9ポイント上回りました。

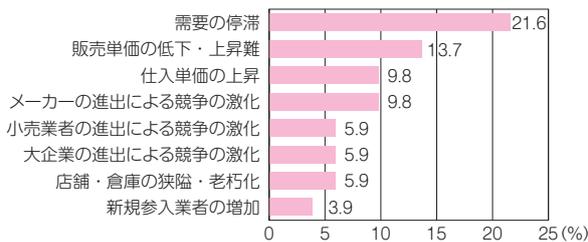
来期の業況判断D.I.は4.5とプラスに転じ、今期との比較で27.2ポイントと大幅な改善を予想しています。

食料・飲料卸売業の今期の業況判断D.I.は、△42.9ですが、来期見通しでは、0.0となっているほか、項目別でもすべての項目で改善を予想しており、特に売上は28.6と回復見込み幅が大きくなっています。

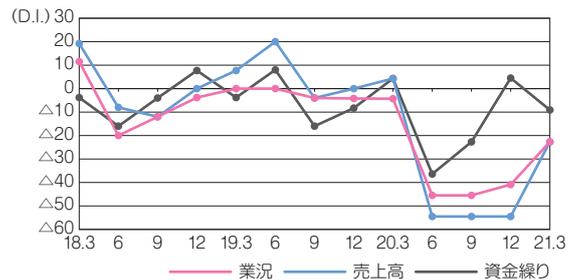
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 40.9	△ 22.7	4.5	△ 44.6
売 上 高	△ 54.5	△ 22.7	0.0	△ 48.7
資 金 繰 り	4.5	△ 9.1	△ 13.6	△ 14.2
採 算	△ 13.6	△ 18.2	△ 4.5	△ 39.4
売 上 単 価	△ 18.2	4.5	0.0	△ 8.4
仕 入 単 価	0.0	4.5	9.1	17.6
在 庫 数 量	△ 4.5	△ 4.5	4.5	△ 24.8
従 業 員 増 減	0.0	△ 4.5	0.0	△ 7.6

■経営上の問題点(複数回答)



■主要業況判断D.I.の推移



Ⅳ 小売業(回答88社…回答率98.8%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△46.6と、前期との比較で13.6ポイント改善しました。全国調査との比較では、業況判断D.I.で1.1ポイント上回っており、ほぼ同水準となっています。

項目別では、概ね回復傾向であるものの、依然厳しい状況は継続しており、特に売上高D.I.は△48.9と厳しい状況が続いています。

来期の業況判断D.I.は△31.8と、今期との比較で14.8ポイントの改善を予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 60.2	△ 46.6	△ 31.8	△ 47.7
売 上 高	△ 63.6	△ 48.9	△ 39.8	△ 52.6
資 金 繰 り	△ 22.7	△ 15.9	△ 14.8	△ 29.3
採 算	△ 30.7	△ 27.3	△ 27.3	△ 46.2
売 上 単 価	△ 26.1	△ 27.3	△ 27.3	△ 33.6
仕 入 単 価	6.8	8.0	1.1	6.8
在 庫 数 量	△ 22.7	△ 16.1	△ 18.4	△ 25.8
従 業 員 増 減	△ 2.4	△ 4.6	△ 1.1	△ 7.0

■業種別の状況

【飲食料品小売業】【飲食店】

飲食料品小売業の業況判断D.I.は、△55.6と前期比13.6ポイント改善していますが、飲食店の営業自粛に伴う売上減少を余儀なくされたことで小売業全体と比較すると9.0ポイント下回っています。

飲食店の業況判断D.I.は、今期・来期とも△100.0と国・県・市の支援策はあるものの全く先が見えない状況が続いています。

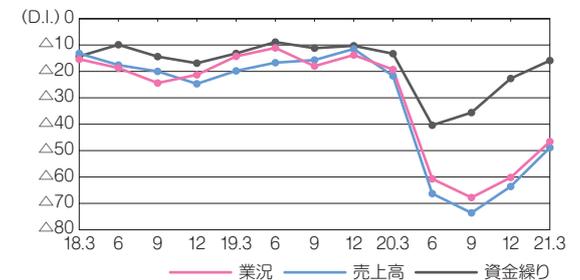
経営上の問題点は、消費者ニーズの変化への対応がトップを占めています。

【その他】

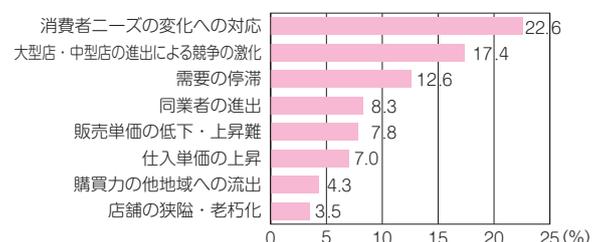
業況判断D.I.は、自動車販売、家電、スポーツ用品、燃料小売ともに、改善傾向にありますが小売業全体と比較するとほぼ同程度であり、来期も含め不振が継続する見込みで、巣ごもり需要や在宅時間の充実を求める消費等の取込みはできていないようです。

経営上の問題点は、主に消費者ニーズの変化への対応と大型店・中型店の進出による競争の激化であり、中小小売店の苦境がうかがわれます。

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点(複数回答)



V 建設業・不動産業 (回答63社…回答率96.9%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△25.4と、前期との比較で3.2ポイントと小幅ながら改善し、全国調査比では、業況判断D.I.で全国調査を6.4ポイント下回りました。

項目別でも、全項目で改善していますが、改善幅は、小幅なものに留まっています。

来期の業況判断D.I.は△15.9と、今期との比較で9.5ポイントの改善を予想しています。

■業種別の状況

【総合工事】

業況判断D.I.は、△12.1と前期比2.7ポイント改善し、来期には△3.0とさらに回復が見込まれています。

項目別には、各項目とも小幅ながら、改善しており、着実な回復傾向がうかがわれます。

経営上の問題点は、官公需要の停滞がトップであり、民間需要の停滞、材料価格の上昇懸念が続いています。

【設備工事】【職別工事】【不動産】

設備工事業の業況判断D.I.は、△36.4と前期比6.5ポイント改善しています。来期も△27.3と小幅ながら回復見込みです。

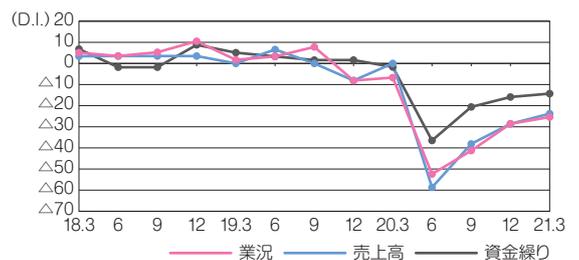
職別工事業の業況判断D.I.は、△42.9と前期比30.4ポイント悪化しています。来期も△42.9と業況は変わらない見込みです。

不動産業の業況判断D.I.は、△44.4と全体と前期比12.7ポイント改善しており、来期も△33.3と引続き小幅ながら回復の見込みです。

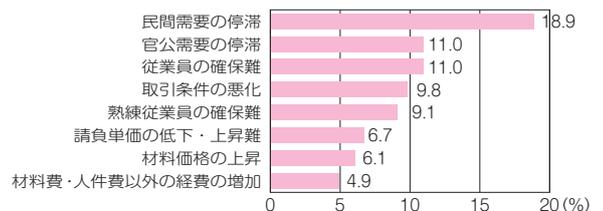
(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 28.6	△ 25.4	△ 15.9	△ 19.0
売 上 高	△ 28.6	△ 23.8	△ 17.5	△ 24.9
資 金 繰 り	△ 15.9	△ 14.3	△ 12.7	△ 10.2
採 算	△ 20.6	△ 11.1	△ 6.3	△ 22.7
受 注 額	△ 28.6	△ 19.0	△ 14.3	△ 19.9
材 料 単 価	6.5	4.8	3.2	26.5
従 業 員 増 減	△ 6.5	1.6	3.2	△ 3.9

■主要業況判断D.I.の推移



■経営上の問題点 (複数回答)



VI サービス業 (回答80社…回答率97.5%)

■景況

今期の業況判断D.I.は△41.3と、前期との比較で8.1ポイント改善し、全国調査との比較では、業況判断D.I.で12.0ポイント上回りました。

項目別でも、全体としては回復傾向ですが、資金繰りD.I.△17.5に比し、売上高D.I.は△40.0と依然厳しい状況にあります。

来期の業況判断D.I.は△27.5と、今期との比較で13.8ポイントの改善を予想していますが依然としてマイナス幅は大きく、厳しい状況は継続する見込みです。

■業種別の状況

【自動車整備】

業況判断D.I.は、△23.5と前期比14.0ポイント改善しており、サービス業全体と比較すると17.8ポイント上回っています。さらに来期は5.9とプラスに転換する見込みです。

経営上の問題点は、消費者ニーズの変化への対応、需要の停滞であり、自動車販売の持ち直しの好影響がプラス要素として表れてきています。

【洗濯・理容】

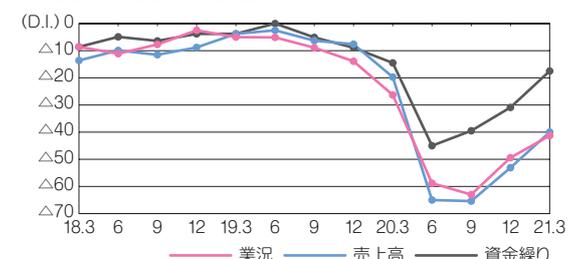
業況判断D.I.は、△90.9と前期比9.1ポイント悪化しており、サービス業全体と比較しても49.6ポイント下回って、来期も△81.8の見込で外出自粛が続く中で、非常に厳しい状況が続く見込みです。

経営上の問題点は、消費者ニーズの変化への対応、需要の停滞であり、コロナ感染に配慮し、店内での待機はさせないようにしていた(美容室)等コロナ禍での需要への的確な対応が求められています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△ 49.4	△ 41.3	△ 27.5	△ 53.3
売 上 高	△ 53.1	△ 40.0	△ 25.0	△ 59.0
資 金 繰 り	△ 30.9	△ 17.5	△ 12.5	△ 36.1
採 算	△ 32.1	△ 15.0	△ 10.0	△ 51.8
客 単 価	△ 27.2	△ 20.0	△ 8.8	△ 28.5
仕 入 単 価	△ 4.9	△ 2.5	0.0	9.1
従 業 員 増 減	△ 6.4	△ 7.7	△ 5.1	△ 12.6

■主要業況判断D.I.の推移



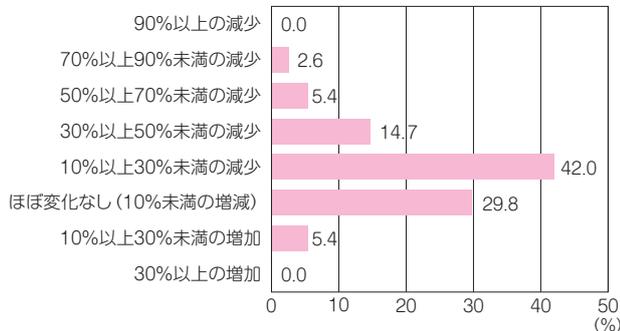
■経営上の問題点 (複数回答)



特別調査【新型コロナウイルス感染拡大長期化の影響と新常态(ニューノーマル)への対応について】

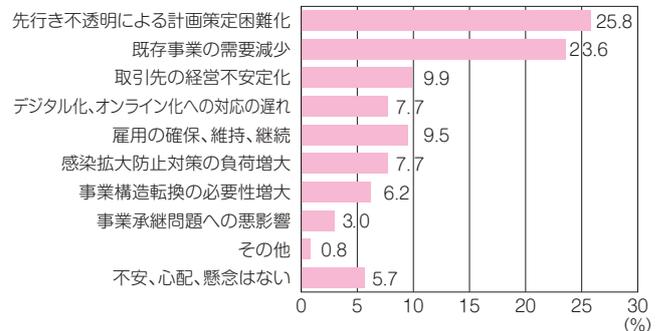
1 今期の売上の状況(例年比)

新型コロナの影響がなかった例年と比較して売上の変化は、約65%の先で減少、約30%の先でほぼ変化なし。増加した先は5%程度に留まる。



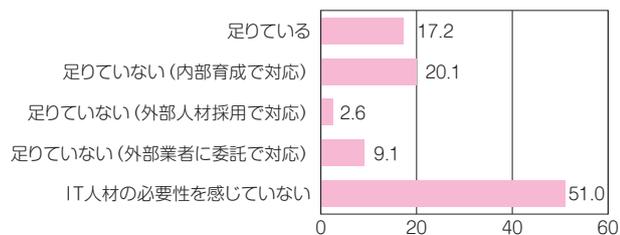
2 事業継続上の不安、心配、懸念

ニューノーマルへ移行していくなかでの不安、心配、懸念では「先行き不透明による計画策定困難化」と「既存事業の需要減少」で半数を占める。

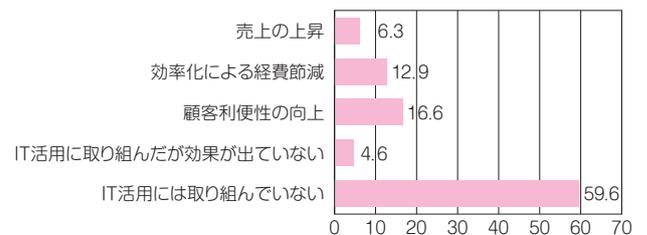


3 IT人材の状況、IT活用の効果

IT人材の状況は、約30%の先で不足しているほか、必要性を感じないとの回答も半数に上る。



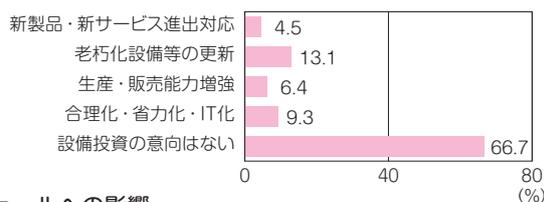
IT活用の効果は、「IT活用には取り組んでいない」との回答が約60%と、IT活用自体が未だ低水準の状況にある。



4 設備投資動向

ニューノーマルへ向けた設備投資の意向は65%超の先でなかったことから、スケジュールへの影響も比較的軽微に留まった。

■設備投資の意向

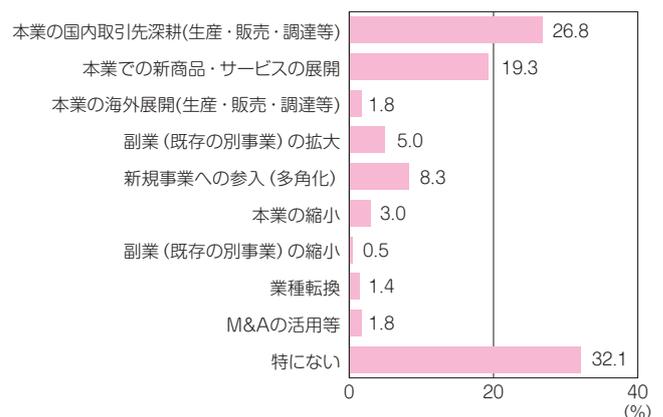


■スケジュールへの影響



5 今後の事業展開

今後の事業展開は、本業関連で50%強であるが、「特になし」とする回答も30%を超える。



今回の調査について

【調査方法】		【調査対象企業数・回答企業数】			
調査時期	2021年3月	製造業	116	113	97.4%
調査内容	①今期の状況：前年の同時期(2020年1~3月期)と比較した今期(2021年1~3月期)の状況	卸売業	24	22	91.6%
	②来期の見通し：前年の同時期(2020年4~6月期)と比較した来期(2021年4~6月期)の状況	小売業	89	88	98.8%
調査方法	伊勢崎商工会議所及びアイオー信用金庫の調査員による面談または聞き取り	建設・不動産業	65	63	96.9%
対象企業	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の事業所	サービス業	82	80	97.5%
※毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。		合計	376	366	97.3%

上武金型有限会社



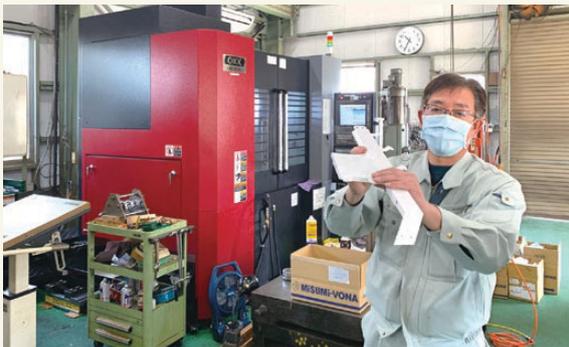
【当社の取り組み】

昭和40年上武金型工作として創業し、昭和41年成型加工部門を開始。昭和43年上武金型有限会社として法人設立し現在に至ります。

創業から半世紀を超え、様々な業界の金型設計・製作の実績があり、当社の機械設備で製作可能な大きさのものであれば、プラスチックの金型から最終製品までを一貫ラインで生産いたします。

また、他メーカーの金型の設計変更や修理のご依頼もお受けいたします。

図面かサンプルをいただければ、お客様の幅広いニーズに迅速に対応しお届けします。



会社概要

創 業 昭和40年(1965年)
設 立 昭和43年
代 表 者 代表取締役 飯島 努
所 在 地 伊勢崎市戸谷塚町491
T E L 0270-32-4100
資 本 金 450万円
売 上 高 100百万円
従業員数 13名

主要取引先

モリタ宮田工業(株)、(株)ケアコム、
(株)立山科学ハイテクノロジーズ、
北菱電興(株)、光山電気工業(株)、
(株)アイピーエム、(株)マルナカ
(株)ヤマグチ、杉原エス・イー・アイ(株)

事業内容

プラスチック金型設計製作、射出成形、二次加工

主な取扱製品

自動車部品、防災機器部品、病院福祉施設用機器、
住宅関連部品、弱電部品、精密機能部品

【当社の得意とするもの】

自動車部品、防災機器部品、病院福祉施設用機器、
住宅関連部品、弱電部品、精密機能部品等のプラスチック金型設計・製作のことなら“上武金型へ”。

金型から製品まで一貫生産、一步進んだ技術で、
お客様のニーズに満足いただける製品をお届けします。



中小企業経営者の
みなさまへ

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

- 1 経営者のための退職金制度**
小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。
- 2 掛金は全額所得控除**
掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。
- 3 受取時も税制メリット**
共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

●契約者貸付けの利用が可能
契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

●共済金の受給権は差押禁止
共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

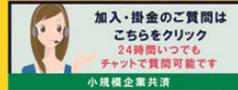
経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

- 1 掛金の10倍の範囲内で最高8,000万円まで貸付け**
「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額（最高8,000万円）」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年（据置期間6か月を含む）で毎月均等償還です。
- 2 貸付条件は無担保・無保証人**
共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けますと貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。
- 3 掛金は税法上損金（法人）または必要経費（個人事業）に**
掛金月額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。

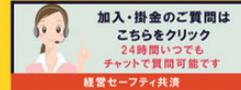
24時間・
365日
お問い合わせ
可能に
なりました

加入資格・手続きについてのご質問をチャットでご回答いたします。
詳しくは下記のQRコード又はホームページからご確認ください。



小規模共済

検索



経営セーフティ共済

検索

Be a Great Small.
中小機構



5Sを掲げ、地域貢献するしんきんを目指します。

- Sustainable** 持続可能な＝いつまでも常に地元のみなさまとともに
- Solution** 解決＝地元のみなさまの悩み、不安など課題を解決
- Strategy** 戦略＝緻密な戦略を持って
- Support** 応援＝地元のみなさまの夢を応援する
- Smile** 笑顔＝あたたかいハートの笑顔で



新入社員研修会



アイオー・ビジネススクール



アイオー・ビジネスクラブ



新現役マッチング交流会



地元のソリューションをミライへ。
アイオー信用金庫

